

PA500II エンタープライズモバイルコンピュータ



取扱説明書

400892G-J 初版

本マニュアルについて

本マニュアルは、PA500II 業務用モバイルコンピュータのインストール、操作、そして保守方法について説明しています。

本書のいかなる部分もユニテック社からの書面による許可なしで、いかなる形式でも、電子的あるいは機械的を問わず複製することはできません。これは、フォトコピー、レコーディング、あるいは情報の保存と検索システム等の電気的もしくは機械的な方法を含んでいます。本書の内容は予告なく変更することがあります。

© Copyright 2011 Unitech Electronics Co., Ltd. 著作権所有。

ユニテック・ジャパン Web サイトアドレス: <http://jp.ute.com>

Bluetooth は、Bluetooth SIG の登録商標です。

バッテリーについて

PA500II はリチウムイオンバッテリーパックとバックアップバッテリーを内蔵しています。いずれのバッテリーも長時間使用されなかった後ではバッテリーが放電します。

両方のバッテリーが放電した場合、メインバッテリーとバックアップバッテリーを完全に充電するために本装置を3.5時間以上充電します。以下の方法で PA500II を充電します。

1. PA500IIにUSB・充電ケーブルを接続し、USBコネクタのDCジャックに 5V/3A AC-DC アダプタのDCプラグを接続します。
2. PA500II をクレードルに置いて、5V/3A AC-DC アダプタのDCプラグをクレードルのDCジャックに接続します。

メインバッテリーを外すと、バックアップバッテリーはSDRAMのデータを最大1時間保持します。データが失われないようにするには、外部電源を接続せずにメインバッテリーを外した状態で長時間放置しないで下さい。詳細については、バッテリーの充電のセクションをご覧ください。

ノート: 充電可能なバッテリーは、最適な性能を保持し続けるには、毎年もしくは500回充電/放電サイクルを行ったときに交換するようにお勧めします。1年以上もしくは500サイクル以上使用するとバッテリーが膨れることは普通です。これは有害ではありませんが、使用することはできませんし、各自治体等で定めるバッテリー処理の方法により処分しなければなりません。

リチウムイオンバッテリーの性能低下が20%以上ある場合、バッテリーは寿命です。使用を継続せずに、バッテリーを適正に処分して下さい。

バッテリー電源の使用時間は、バッテリーの種類と装置での使われ方によります。以下の方法でバッテリーの使用可能時間を維持します。

- 完全放電を繰り返さない。これはバッテリーに余計なストレスをかけます。一部を放電し充電を何度も行う方が完全放電よりも望ましいと言えます。リチウムイオンバッテリーの部分的な充電は、メモリ効果がないので問題になることはありません。
- リチウムイオンバッテリーは涼しい場所において下さい。暑い車の中は避けて下さい。長期間保存する場合は、バッテリーを 40% 程度の充電で保存して下さい。
- リチウムイオンバッテリーを放電したまま長期間使わず放置しないで下さい。バッテリーは消耗し、寿命は充電を繰り返す場合より半分以下と短くなります。

バッテリーの充電について

リチウムイオンバッテリーを充電する場合は、周囲の温度を考慮することが重要です。充電は室温あるいはやや涼しい温度で行うのが最も効果的です。バッテリーは 10° C から 40° C の範囲で充電を行うのが基本です。この範囲外でバッテリーを充電すると、バッテリーにダメージを与え、充電する寿命が短くなります。

注意! 0° C以下でバッテリーを充電しないで下さい。内部抵抗が増加し、発熱し、バッテリーが不安定で、安全を損ないます。更に、バッテリーの膨張を保護し、避けるために、PA500IIのバッテリーは温度保護を装備しています。そして、バッテリーの温度が40°C以上で充電しないようにすることが必要です。

保存と安全について

数ヶ月間使用されなかった充電済みのリチウムイオンバッテリーの容量は、内部抵抗により消耗します。この場合、使用する前に充電する必要があります。リチウムイオンバッテリーは、 -20°C から 60°C の間で保存することが出来ますが、高い温度ではより早く消耗します。バッテリーは室温で保存されることをお勧めします。

保証期間について

以下の製品は、通常の使用状況で発生した故障に対してユニテック社の保証が適用されます。

PA500II - 1年間

リチウムイオンバッテリー - 6ヶ月間

保証は、機器の改造、不適切なインストールや使用、事故または不注意による損傷、あるいは何らかのパーツが不適切にインストール、もしくはユーザによって交換された場合等は対象外となります。

付属または当社製のアダプタのみ使用して下さい。間違ったアダプタを使用すると、機器に損傷を与えるだけでなく保証も無効になります。

目 次

はじめに	
本マニュアルについて.....	i
バッテリーについて.....	i
バッテリーの充電について.....	ii
保存と安全について.....	iii
保証期間について.....	iii
目次.....	iv
第1章	
概要.....	1
PA500IIの概要.....	1
特徴.....	1
PA500IIの製品概要とアクセサリキット.....	2
PA500IIの外観.....	3
PA500II正面図.....	3
PA500II背面図.....	4
PA500IIのセットアップ.....	5
バッテリーの取り付け.....	5
PA500IIの充電.....	6
初めてPA500IIの電源を入れる.....	7
第2章	
ハードウェアの操作.....	9
キーボードの使い方.....	9
スタイラスの使い方.....	9
SDIO/MMCスロットの使い方.....	10
第3章	
接続.....	12
PA500IIとPCの接続.....	12
Microsoft ActiveSyncのインストール.....	12
PA500IIをコンピュータに接続する.....	13
WiFi接続.....	14
Summit Utilityの使い方.....	14
第4章	
バーコードスキャナプログラム.....	17
スキャナ設定.....	17
Scan2Key.....	17
バーコードシンボル.....	18

第5章	
詳細な設定.....	20
ハードウェアリセットの実行.....	20
ウォームブートの実行.....	20
コールドブートの実行.....	20
付録I	
システム仕様.....	21
付録II	
グローバルサポート.....	24

概要

PA500II の概要

PA500II エンタープライズモバイルコンピュータをお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。PA500II は、データ収集やリアルタイム処理のためにコンパクトで頑丈なポータブルコンピュータが必要なお客様のために設計されたました。ユニテック PA500II エンタープライズモバイルコンピュータは、耐久性の高いモバイルコンピュータです。

特徴

PA500IIは、タッチスクリーン付きのカラーディスプレイ、ナビゲーション(方向)キー、そして6つのキーを実装しています。PA500II は、速やかで確実なデータ収集が可能なレーザスキャナを内蔵しています。PA500IIは、BluetoothとIEEE 802.11 b/g/nの無線LANを内蔵しており、コンピュータシステムとの情報交換を無線で行うことができます。

PA500IIの製品概要とアクセサリキット

箱をあけたら、PA500IIと以下のアクセサリが入っていることを確認して下さい。

		
PA500II本体	電源アダプタ	バッテリーパック
		
スタイラスとひも	USBケーブル	USBクレードル(別売)
		
CD-ROM(マニュアル)		

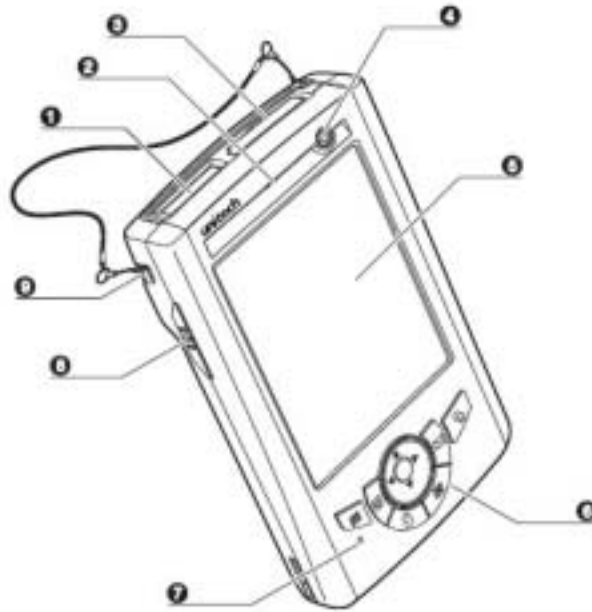
電源アダプタのプラグは、日本国内仕様のもが入っています。海外で使用する場合は、ユニテック・ジャパン（株）または代理店にお問い合わせ下さい。

不足しているものがありましたら、速やかにご購入の代理店にお問い合わせ下さい。

PA500IIの外観

以下のセクションは、PA500IIの主要部分と機能について説明をしています。

PA500II 正面図



No.	名称	機能
1	バーコードレーザスキャナ	バーコードを読み、データを収集します。
2	ステータスインジケータ	バッテリー充電とバーコードスキャンの状態を表示します。 緑: バッテリーが完全に充電、あるいはバーコードスキャンが終了。 赤: バッテリーを充電中、あるいはバーコードをスキャン中
3	SDIO/MMCスロット	SD (Secure Digital)、MMC (Multimedia Card) または SDIO (Secure Digital Input Output) カードを挿入し、メモリを追加することができます。追加のアプリケーションをインストールしたり、大量のデータを保存するために使用します。PA500II本体からデータのバックアップのために使用することもできます。
4	電源ボタン	PA500IIの電源がオフの場合、このボタンを押すと電源が入ります。あるいは、PA500IIの電源が入っているとき、二秒間以上このボタンを押すと電源が切れます。

- 5 LCDタッチスクリーン PA500IIのアプリケーションとデータを表示します。タッチスクリーンは、指またはスタイラスに反応します。
- 6 キーパッド アプリケーションを直接起動するための4つのボタン、ESCとEnterキー、4方向のナビゲーションキーと中心にOKボタンがあります。
- 7 (未使用)
- 8 左スキャナトリガキー バーコードスキャナを起動します。
- 9 ストライプホール スタイラスをつなぐためのストライプを取り付けます。

PA500II 背面図



No.	名称	機能
10	スピーカ	ここから音声が出ます。
11	バッテリーリリースラッチ	右の方にラッチをスライドさせたまま保持し、バッテリーを下にずらすと外れます。
12	リセットボタン	スタイラスの先を穴に入れて押すとPA500IIをリセットします。
13	メインバッテリー	3.7V 2200mAHの取り外し可能な充電式バッテリーです。
14	ユニバーサルコネクタ	PA500IIとUSB・充電ケーブルを接続します。このUSB ケーブルは、PCの USBポートと接続し、PA500IIに電源を供給するために5V ACアダプタと接続します。 PA500IIは、充電と ActiveSync の操作を同時にすることができません。また、クレードルとPA500IIを接続するためにも使用します。このポートは、USBまたはRS232スキャナ、キーボード、あるいはUSBメモリなどのUSBとRS232デバイスの接続もサポートします。

- | | | |
|----|------------|---|
| 15 | 右スキャナトリガキー | バーコードスキャナを起動します。 |
| 16 | スタイラス | スタイラスを使用する場合、ホルダから抜き、ペンや鉛筆を持つようにして使います。 |

PA500IIのセットアップ

使用を開始する前に以下の作業を行います。

- バッテリーパックの取り付け
- PA500IIの充電
- PA500IIの電源を入れる

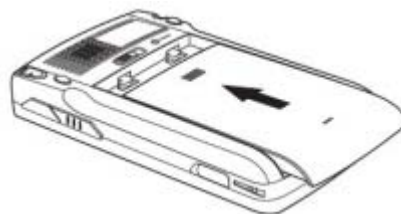
バッテリーの取り付け

警告! バッテリーパックを不適切に扱うと、火災や爆発の危険があります。分解、破砕、破裂、ショートさせたり、火や水の中に入れてたりしないで下さい。バッテリーパックの修理をしようとししないで下さい。地方自治体のリサイクルガイドラインに従って、廃棄して下さい。

バックアップバッテリーセルは、取り外し可能なメインバッテリーを外したり、放電した場合にデータが失われることを防ぐためにPA500IIの内部に組み込まれています。バックアップバッテリーは、メインバッテリーが外された場合、約1時間データと設定内容を保持します。

ノート: 内部のバッテリーセルがバックアップに必要な電源容量を確保するには、メインバッテリーパックを取り付けた状態で3.5時間以上充電して下さい。

1. バッテリーパックを背面のバッテリー収容部の形状に合うようにして、位置を合わせて下さい。
2. バッテリーパックをバッテリー収容部でスライドします。バッテリーパックは、クリック音がしてケースにロックされます。



3. メインバッテリーパックを外し、バックアップバッテリーが放電する前にメインバッテリーを取り付けると、PA500IIIは、ウォームスタートします。
4. メインバッテリーパックを外し、バックアップバッテリーが放電した後でメインバッテリーを取り付けると、PA500IIIは、コールドスタートします。

PA500IIIの充電

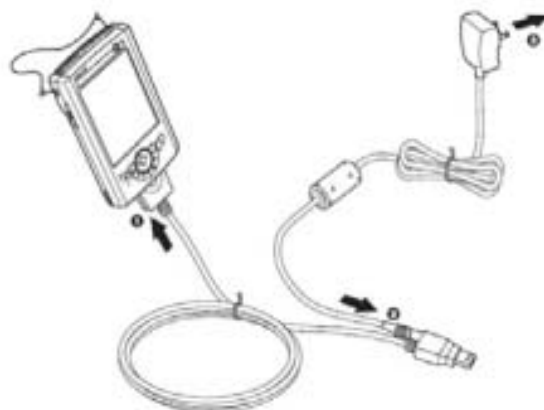
初めて使用する場合、PA500IIIを16時間以上充電する必要があります。その後は、毎日バッテリーが完全充電されるように充電をして下さい。USB・充電ケーブルまたはクレードルを使用して充電することができます。

注意! 初めて使用するときにACアダプタを使わないと、バックアップバッテリーが完全に充電されていないので、RAMメモリに保存されているデータを失う場合があります。

ノート: 入力したデータは、内部のバックアップバッテリーが完全に充電されるまでは正しく保存されないかもしれません。

USB・充電ケーブルを使用して充電する方法

1. ACアダプタにクリッププラグが付いていない場合は、クリック音がしてロックされるまでクリッププラグをACアダプタにスライドします。
2. USB・充電ケーブルのコネクタボタンを押したままPA500IIIと接続します(1)。
3. ACアダプタのケーブルをUSB・充電ケーブルの電源ジャックに差し込みます(2)。
4. ACアダプタをコンセントに差し込みます(3)。



クレードルを使用して充電する方法



1. ACアダプタのケーブルをクレードルの電源ジャックに接続します。
2. ACアダプタをコンセントに差し込みます。
3. PA500IIをクレードルにスライドし、しっかりとクリックされるまで押します。



PA500IIの底部がクレードルにスムーズに当たると確実に接続が行われ、クレードルとPA500IIのLEDインジケータが赤く点灯します。

LEDのステータスは、充電中以下の様になります。


- 赤点灯: 充電中
- 緑点灯: 充電終了

バッテリーの容量が少なくなったら、PA500IIのスクリーン上に、電圧低下を示す  または、電圧が極めて低いことを示す  ステータスアイコンが現れます。

どちらの場合も、ActiveSyncを使用してデータをバックアップし、そして速やかにバッテリーを充電します。バッテリー容量が、低のステータスに達したら、PA500IIは、スリープモードに入り、バッテリーが充電されるまで電源を入れることはできません。Windows Embedded Handheld 6.5 デバイスは、メインバッテリーが完全に放電しても、ある時間の間はインストールされたアプリケーションとデータを保持します。

初めてPA500IIの電源を入れる

最初に約16時間PA500IIを充電した後で、PA500IIは使用可能な状態になります。必要なシステム設定を行い、使い方を学習します。

1. フロントパネルの電源ボタン  を押して電源を入れます。



ノート: PA500IIのスクリーンには保護用のフィルムが貼られています。角を持って引くとはがすことができます。フィルムが無いと見易くなりますが、傷が付きやすくなります。

Unitech PA500IIのWelcomeスクリーンが現れます。

2. PA500IIのタッチスクリーン補正

通常は、タッチスクリーンの補正をする必要がありませんが、タッチスクリーンの位置がずれている場合は補正を行います。スタート → 設定 → システムタブ → スクリーンをタップします。

PA500IIは、スクリーンに十字で表示される位置を連続してタップすることによって補正することができます。丁寧にそして確実にタップします。一連のタップが終了したら、ENTERボタンを押します。

3. タイムゾーン、日付と時刻の設定

現在の日付、時刻、タイムゾーンが合っていなかった場合、タイムゾーンのドロップダウンリストからタイムゾーンを選択し、そして次へをタップします。

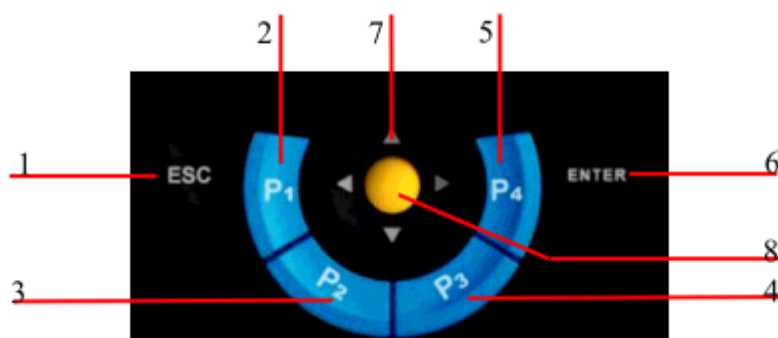
4. 設定を終了するためにスクリーンの指示に従います。セットアップウィザードは、ポップアップメニューの使い方のヒントを提供し、そしてPA500IIへアクセスするためのロックパスワードを指定します。

デバイスをセットアップしたら、コンピュータとPA500II間の情報を同期するためにActiveSyncのパートナーシップを作成します。この方法については、ユーザマニュアルの第3章、PA500IIとコンピュータを接続するをご覧ください。

ハードウェアの操作

キーボードの使い方

PA500IIのキーパッドは、ナビゲーションキーと特定のアプリケーションを立ち上げるための4個の特殊キー、ESCとENTERキー、そしてオンスクリーンキーボードです。



No.	ボタン名	説明
1	ESC	入力したセクションから出る場合にESCを押します。
2	P1	タスクマネージャを起動するためにP1を押します。
3	P2	スキャナコントロールを起動するためにP2を押します。
4	P3	バッテリーの電源管理スクリーンを立ち上げるためにP3を押します。
5	P4	デバイス設定のスクリーンを立ち上げるためにP4を押します。
6	Enter	メニューオプションにアクセスし、選択を確認するためにEnterボタンを押します。
7	ナビゲーションキー	メニューオプションを移動するために上、下、左、右の矢印キーを使用します。
8	OK	メニューオプションにアクセスし、選択を確認するためにOKボタンを押します。

スタイラスの使い方

注意! PA500IIのスタイラス以外のものをスクリーンで使用しないで下さい。傷が付く恐れがあります。

1. 矢印の方向にスタイラスを引きます。そして、ホルダからスタイラスを取り出します。



2. スタイラスを鉛筆の様に持ちます。
3. メニューを選択する場合、スタイラスの先を選択するものの上で軽くタップします。
4. フォームのフィールドにデータを書くには、スタイラスを文字または数字を書くために使用します(あるいはスクリーンキーボード)。やや軽く押して下さい。

SDIO/MMCスロットの使い方

PA500IIには、SD、SDIO、そしてMMSメモ리카ードと互換性のある拡張スロットがあります。これは主にファイルとデータのバックアップまたは転送に使用されます。

メモ리카ードの入れ方

1. PA500IIをしっかりと持ち、SDIO/MMCスロットのラバーカバー  を開けます。



2. SDカードがクリックした感じがするまで、スロットにカードを押し込みます、そしてこれはスロットにカードが入ったという印になります。



カードは、スロットから出ていない場合は、確実に入っています。

メモ리카ードの外し方

1. PA500IIをしっかりと持ちます。カードを押して、離します。カードが飛び出します。
2. スロットからカードを取り出します。

接続

PA500II は、USB、Bluetooth、WiFi を使用してホストコンピュータ(PC)と接続して通信を行うことができます。この章では、PA500IIの通信機能の概要を説明します。

PA500II とPCの接続

Microsoft ActiveSyncのインストール

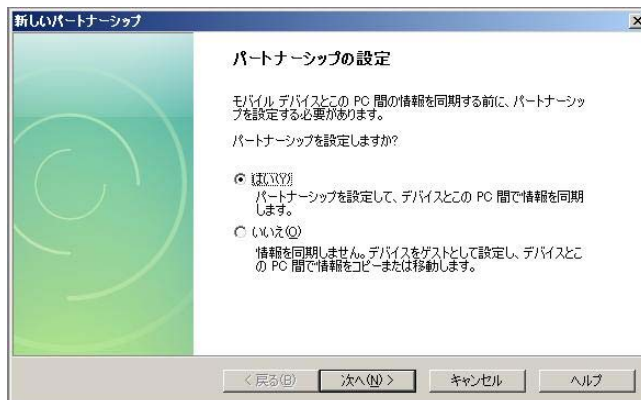
PA500IIとWindows XP PCと接続するためには、Microsoft ActiveSyncをPCにインストールする必要があります。Windows Vista/7は、あらかじめインストールされているWindows Mobileデバイスセンターを使用します。PA500IIとPCの接続は、付属のUSB・充電ケーブルを使用するかクレードルを使用します。

ノート: 古いバージョンのActiveSyncがPCにインストールされている場合は、最新版のMicrosoft ActiveSyncをインストールする前にアンインストールします。

1. スタートアップから起動したプログラム、ウイルススキャンソフトウェアを含む実行しているプログラムを終了します。
2. Microsoft ActiveSync ダウンロードページ <http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?familyid=9E641C34-6F7F-404D-A04B-DC09F8141141&displaylang=ja> から ActiveSync 4.5 ソフトウェアをダウンロードします。
3. ダウンロードしたファイルのアイコンをダブルクリックします。インストールウィザードが始まります。
4. スクリーンに表示される説明に従って Microsoft ActiveSync をインストールします。

PA500IIをコンピュータに接続する

1. ActiveSync をインストールした後で、PA500II とホスト PC との通信で説明したように PA500II と PC を接続します。
2. PA500II の電源を入れます。

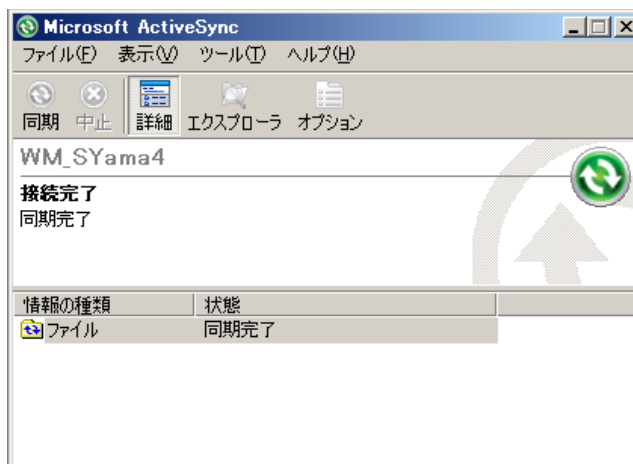


3. ActiveSync は自動的に始まり、PA500II と接続するために USB ポートを設定します。新しいパートナーシップの設定ウィザードが自動的に始まります。

ノート: ActiveSyncが自動的に開始しない場合、スタート→プログラム → Microsoft ActiveSyncをクリックします。

ノート: 接続を検出できないことを示すメッセージが現れたら、キャンセルボタンをクリックして、マニュアルで通信設定を行います。

4. スクリーンの指示に従います。
5. 設定プロセスが終わったら、ActiveSync ウィンドウが現れます。



6. 同期が始まり、選択した同期間隔、または接続のたびに同期が行われます。

ノート: PC は複数の PA500II とパートナーシップを作ることが出来ます。また、PA500II は二つのコンピュータとパートナーシップを作ることが出来ます。

WiFi接続

PA500IIIには無線LANが内蔵されています。無線ネットワークは、ネットワークが検出された場合、もしくはマニュアルで設定情報が入力された場合のいずれかに追加されます。以下の設定をする前に、認証情報が必要であるかどうかを確認して下さい。

Summit Utilityの使い方

WiFiの設定または変更をするために、Summit Client Utilityを使用することができます。

Adminのログイン

1. スタート → 設定 → システム → WiFi をタップします。
Summit Client Utility ウィンドウが現れます。
2. 管理者としてログインするために、Admin Login をタップします。
3. Admin(管理者)のパスワードを入力します。(標準のパスワードは、SUMMIT です。)



使用可能なアクセスポイントをスキャン

1. Profile タブで、Scan をタップします。



2. 新しいプロファイルを作成するために、接続するアクセスポイントを選択します。



3. 新しいプロファイルを作成するために、Yesをタップします。



4. WEPキー、もしくはネットワークキーを入力します。OKをタップします。



設定を保存(Commit)、そして使用可能にする

1. 設定を保存するためにCommit をタップします。



2. Mainタブで、使用したいプロファイルを選択します。



3. Statusタブで、IPアドレスと信号強度と信号の質を見ることが出来ます。



4. Summit Client Utility を終了するためにOK をタップします。

5. スタート → Boot Modeをタップします。PA500IIをウォームブートするためにウォームブートをタップして、設定を読み込みます。

6. アクセスポイントを切断したい場合は、Disable Radioをタップします。



第4章

バーコードスキャナプログラム

PA500IIIは、バーコードスキャナ内蔵のモデルがあります。ほとんどの種類の一次元バーコードをスキャンしてデコードすることができます。

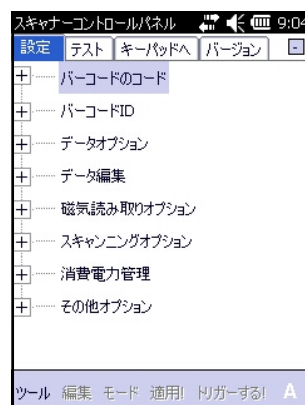
スキャナ設定

アプリケーションによっては、標準のバーコードシンボル設定を変更する必要があります。スキャナコントロールパネルは、シンボル標準値の変更、スキャンしたデータの後にデリミタ文字を置く、そして設定を保存することができます。

スタート → 設定 → システム → Scanner をタップします。

スキャナコントロールパネルが表示されます。

ノート: P2 キーを押しても起動できます。



Scan2Key

Scan2Key アプリケーションは、スキャナポートからの入力をキーボードバッファに転送し、スキャナからのすべての入力をキーパッドからの入力として扱います。Scan2Key を使用してスキャンしたデータは、スキャナポートから Microsoft ワードパッドのようなテキストエディタまたはテキストボックスのあるアプリケーションに渡されます。

バーコードシンボル

バーコードシンボル	有効/ 無効	チェック 文字/ デジット 検証	チェック 文字/ デジット 送信	その他
Australian Post	Yes			バー幅データ送信
British Post	Yes			
Canadian Post	Yes			
Codabar(NW7)	YES	YES	YES	スタート/ストップビット送信、* データ長
Code 11	YES	YES		*データ長
Code 128 / EAN128	YES			*データ長
Code 39	YES	YES	YES	ASCIIの場合、スタート/ストッ プビット、アベンドモード、*デー タ長
Code 93	YES			*データ長
Dutch(KIX) Post	YES			
EAN 13/JAN13	YES		YES	2桁補助、5桁補助、補助必要、 補助セパレータ含む
EAN 8/JAN8	YES	YES	YES	2桁補助、5桁補助、補助必要、 補助セパレータ含む
IATA 2 of 5	YES			*データ長

バーコードシンボル	有効/ 無効	文字 チェック/ デジット 検証	チェック 文字/ デジット 送信	その他
Interleaved 2 of 5	YES	YES	YES	*データ長
ISBT	YES			
Japan Post	YES			
Korea Post	YES			*データ長
Matrix 2 of 5	YES			*データ長
MSI	YES		YES	*データ長
Planet	YES		YES	
Postnet	YES		YES	
GS1-Databar (RSS)	YES			*データ長
UPC A	YES		YES	2桁補助、5桁補助、補助 必要、補助セパレータ含 む
UPC E	YES		YES	2桁補助、5桁補助、補助 必要、補助セパレータ含 む、UPC-E拡張
UPC/EAN E1				2桁補助、5桁補助、補助 必要、補助セパレータ含 む、UPC-E拡張

詳細な設定

ハードウェアリセットの実行

PA500II がフリーズした場合(ボタンを押したり、スクリーンをタップしてもしばらく反応がない)、リセットを実行することが出来ます。

ソフトリセット(ウォームブート)は、コンピュータのリブートと同様に、PA500II をフレッシュな状態にします。

これは PA500II をリスタートし、メモリの割り付けを調整します。すべての保存されているデータやファイルは、ソフトリセットの後でも保持されます。開かれているプログラムで保存されていないデータは失われます。

ウォームブートの実行

1. スタイラスをホルダから外します。
2. PA500IIの背面にあるリセットボタンの穴にスタイラスの先端を軽く押します。



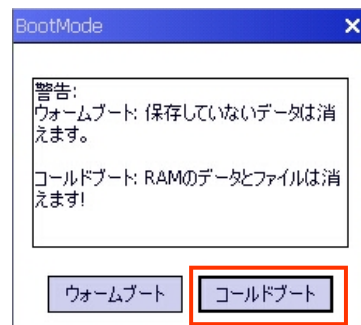
コールドブートの実行

コールドブートは、PA500II に追加したすべてのデータとプログラムを消去し、PA500II を工場出荷時の標準値にセットします。

ウォームブートによって問題が解決しない場合以外はコールドブートを実行しないでください。ActiveSync を次回実行する場合、以前にコンピュータのリブートと同期したデータを復元するか、あるいはメモリカードに保存したデータを復元します。

方法1: Windows Mobileから

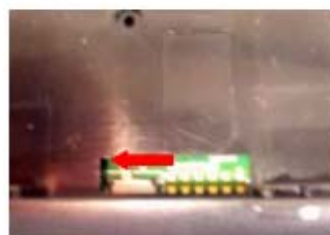
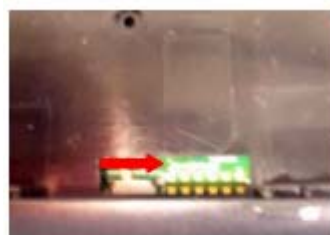
1. スタート -> Boot Modeをタップします。
Boot Mode スクリーンが現れます。
2. コールドブートをタップします。
システムはリセットされ、RAMメモリにあるすべてのファイルを含むデータは失われます。



方法2: ハードウェアから

1. バッテリーリリースラッチを右にスライドし、メインバッテリーを取り出します。バッテリーの取り付けのセクションをご覧ください。
2. バックアップバッテリーのスイッチをオフにします。
3. バックアップバッテリースイッチをオンにします。
4. バッテリーパックを取り付けます。

ノート: ハードリセットを実行すると、データと時刻設定は保持されません。フォーマット、地域情報、その他の設定は標準の工場設定値に戻ります。



システム仕様

システム	CPU: Marvell PXA320 プロセッサ, 806MHz Mobile DDR RAM: 256MB NAND Flash ROM: 512MB OS: Windows Embedded Handheld 6.5 Classic
ディスプレイ	半透過型、カラー、3.5インチ QVGA(240 x 320)、バックライト LCD
キーパッド	4ファンクションキー、ENTER、ESC、ナビゲーションキー
通知	LED
バーコードシンボル	1D バーコード: UPC-A/E, JAN/ EAN-8/13, Codabar(NW7), Code 39 full ASCII, Code 93, Code 32, Interleaved & Std. 2 of 5, EAN128, Code 11, Delta, MSI/Plessey, Code 128, Toshiba, GS1-Databar(RSS)
インジケータ	二色LED: 緑: バーコードスキャン中 赤: バッテリー充電中
通信	USB: USB 1.1, ホストとクライアント 無線LAN: IEEE 802.11 b/g/n Bluetooth: 2.1 + EDR
オーディオ	0.8ワットスピーカー
拡張スロット	SDメモリ、SDHCサポート、32GBまで
電源	メインバッテリー: 8.1ワット時、3.7V @2200mAh バックアップバッテリー: ニッケル水素、1時間バックアップサポート
寸法・重量	重量: 213グラム(バッテリー含む) 寸法: 126mm (L) x 25mm (H) x 77mm(W)

環境条件	動作温度範囲: -10℃ から 50℃ 保存温度範囲: -20℃ から 60℃ 充電温度範囲: 0℃ から 40℃ 相対湿度: 5% から 95%(結露無いこと) 落下テスト: 90cm高からコンクリート床、6面4角
ソフトウェア	Microsoft Visual Studio 2005/2008 Auto Installer
アクセサリ	USBクレードル、予備バッテリー充電可能 メインバッテリー(2200mAh) USB・充電ケーブル ACアダプタ
認証	CE、FCC、BSMI、TELEC、CCC、RoHS

グローバルサポート

ユニテック社の専門サポートチームは、皆様からのご質問や技術に関するサポートに速やかにお応えしています。使用している機器について問題が起こった場合、お近くのサービスセンターにご連絡下さい。連絡先の情報につきましては、以下の Web サイトをご覧ください。

地域	Web サイト
本社	http://www.ute.com
台湾	http://tw.ute.com
Unitech アジア太平洋 & 中東	http://apac.ute.com http://india.ute.com
中国(Unitech China)	http://cn.ute.com
日本(ユニテック・ジャパン)	http://jp.ute.com
米国(Unitech America)	http://us.ute.com http://can.ute.com
南米(Unitech Latin America)	http://.latin.ute.com
欧州(Unitech Europe)	http://eu.ute.com